

吉野石膏グループ

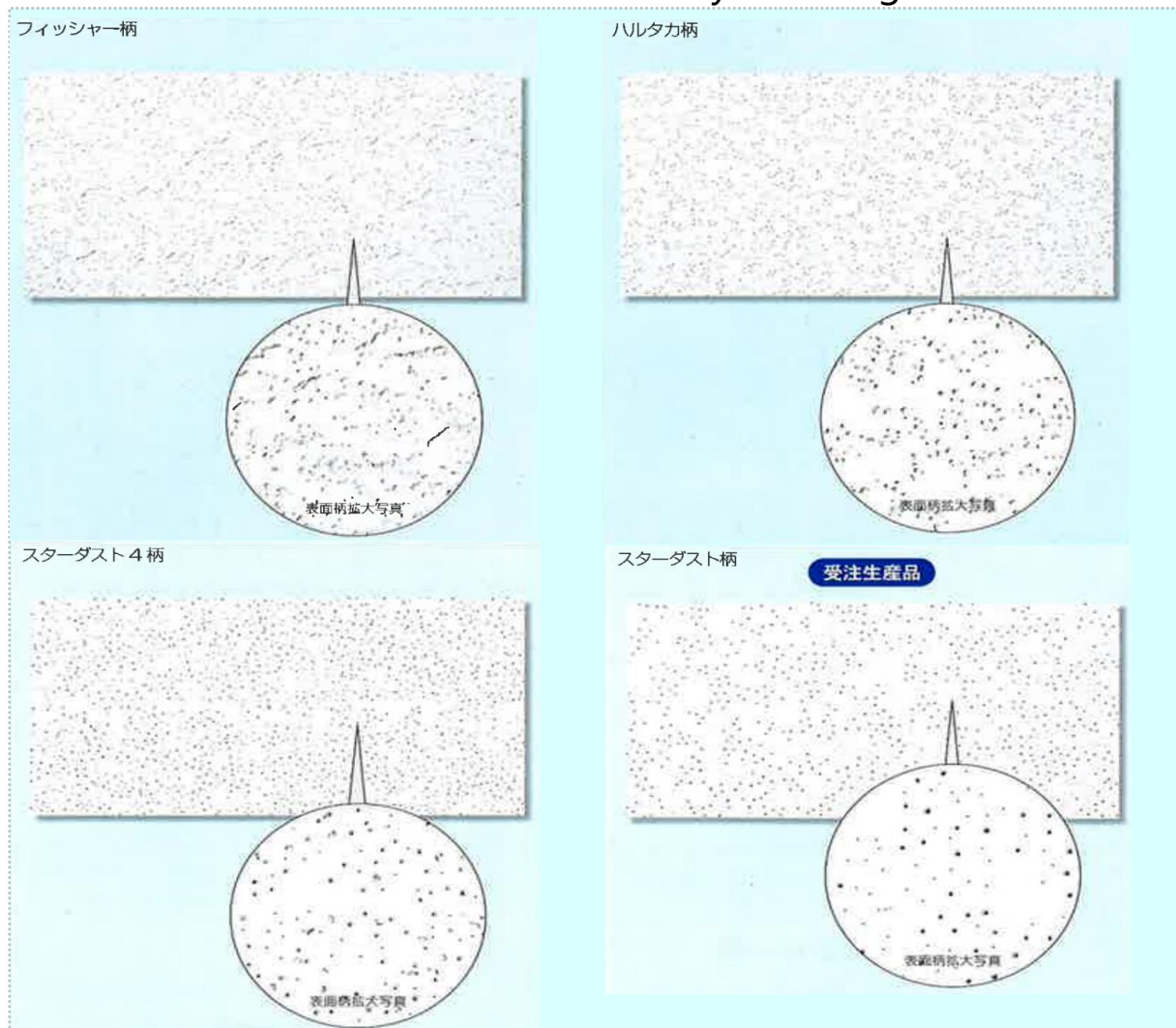
 日本ソーラトン株式会社

日本ソーラトン株式会社

NIHON SOLATON Co., Ltd.

ソーラトン平板12mm

Solaton Flat Panel (for Double Layer Ceiling) 12mm



登録番号

SuMPO-EPD-2512-32-1

検証合格日

2025 / 12/5

公開日

2025 / 12 / 19

検証有効期間

2030/12/4

EPDタイプ

グループ製品EPD

※更新された場合は初版公開日

追加の準拠規格

ISO21930:2007

EPDは検証期間であっても、更新または公開が中止となることがあります。

EPDの最新版および有効性を確認するには以下を確認してください。

<https://ecoleaf-label.jp/epd/search>

●基本情報

> プログラム情報

プログラム名称	SuMPO環境ラベルプログラム
プログラムオペレーター	一般社団法人サステナブル経営推進機構
所在地	東京都千代田区内神田1-14-8 KANDA SQUARE GATE 4F
ウェブサイト	https://ecoleaf-label.jp

> GPI・PCR情報

GPI	SuMPO EPD Japan General Program Instructions v.2.1.1
PCR名称	建材及び建設製品
PCR登録番号	SuMPO-PCR-01000-2-0-1
PCR認定日	2025/ 3/ 31
レビューパネル委員長（所属）	伊香賀 俊治（慶應義塾大学 名誉教授、一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター 理事長）
PCR有効期限	2030/ 3/ 30
PCR発行者	一般社団法人サステナブル経営推進機構

> 検証情報

検証の種類	ISO14025及びISO21930:2007に従った第三者検証		
	☐ 内部	☒ 外部	
	☒ 検証員による 第三者検証	☐ 検証機関による 第三者検証	☐ EPDシステム認証 による第三者検証
検証実施者（所属）	阿藤 崇浩（特定非営利活動法人資源リサイクルシステムセンター）		

> 準拠規格

準拠規格	☒ ISO14040:2006	☒ ISO14044:2006	☐ ISO14067:2018
	☒ ISO14025:2006	☒ ISO21930:2007	☐ ISO21930:2017
	☐ EN15804+A2	☐ EN50693:2019	☐ ISO/IEC63366:2025

EPDに記載の情報及びEPDに記載の情報に関する環境主張についての責任はEPD取得事業者が持ちます。EPDの内容に関するご不明点、確認事項については、EPD取得事業者までお問い合わせください。
EPDの比較は、建設製品の機能を十分に考慮した上で実施されなければならないため、建設製品における建材のフイノサイクル全体を考慮し、建設製品において同等の用途を想定したシナリオを適用している必要があります。EPDの比較の際に考慮すべき条件は本宣言が使用するPCRを参照してください。

EPDが宣言単位に基づいている場合、比較は機能単位あたりで行われなければなりません。
環境影響評価結果はあくまで相対的な数値です。数値の大きさにより環境への影響を一概に結論づけられるものではありません。また、算定した数値は環境への具体的な影響の大きさや安全性（閾値を超過しているか等）、リスク評価（環境や人間にどれだけの影響を及ぼすか等）を直接示すものではありません。
加重平均を用いた算定の場合、ライフサイクル影響評価結果及びライフサイクルインベントリ分析関連情報、廃棄物関連情報、出力フローに関する環境情報は、特定の製品についての情報ではありません。

●EPD取得事業者情報

事業者名・部署名	日本ソーラトン株式会社管理課
住所	千葉県袖ヶ浦市南袖40番地
問い合わせ先	TEL：0438-64-1711
LCA算定実施者（所属）	藤本 健一（日本ソーラトン株式会社）
事業者概要	事業内容：ロックウール化粧吸音板の製造
	生産拠点：千葉工場
	設立年月：2009年12月（吉野石膏グループ）

●製品情報

製品名称		ソーラトン平板12mm	
製品の型式		フィッシャー柄（ST12-S-600）、ハルタカ柄（ST12-621-S-600）、スターダスト4 柄、スターダスト柄	
製品仕様	製品機能	不燃・吸音・断熱	
	製品質量	3.8kg/m ²	換算係数 3.8kg/m ²
	製品の用途	天井材	
	技術性能	ロックウール粒状綿とバインダーを水に分散させスラリー状にして成型し、乾燥後に模様を付け、既定サイズに加工して塗装を行う。	
耐用年数	年数	30年	
	使用条件	室内での使用（空調機、換気扇などの汚れがある場合は交換）	
	年数を設定した根拠	主原料であるロックウールの耐用年数は40～50年とされており、室内使用で天井材のため原料よりも想定年数を短く30年とした。	
製造サイト（製造拠点）		日本ソーラトン株式会社 千葉工場（千葉県袖ヶ浦市南袖40番地）	
製品概要		ロックウールが主原料の天井に使用する化粧吸音板です。 厚さ12mm、幅300mm、長さ600mm	
製品ウェブサイト		http://www.solaton.jp/index.html	

●材料及び物質に関する構成要素

製品構成要素	割合 (%)	質量	
ロックウール	74.2	2.82	kg
バインダー	13.4	0.51	kg
ワックス	0.5	0.02	kg
その他	11.8	0.45	kg
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
包装材構成要素	割合 (%)	質量	
段ボール	96.4	0.35	kg
その他	3.6	0.01	kg
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—

※ 絵柄の異なる4種についてグループEPDを用いる。絵柄が異なるのみ。材料、生産工程については変わらない。4種類の加重平均値にて算定を行った。

●生物由来炭素含有量

項目	含有量 (kg-C)	含有量 (kg-CO ₂ eq)
製品あたりの生物由来炭素含有量	—	—
提供元にわたる包装資材の生物由来炭素含有量	—	—

※ 絵柄の異なる4種についてグループEPDを用いる。絵柄が異なるのみ。材料、生産工程については変わらない。4種類の加重平均値にて算定を行った。



●LCA 関連情報

> EPDタイプ情報

EPDタイプ	製品タイプ	☐ 単一製品		☒ グループ製品		☐ 業界製品			
	サイトタイプ	☒ 特定サイト			☐ 複数サイト				
	開示方法	☐ 特定値		☒ 加重平均値		☐ 代表値		☐ 上限値	
地理的範囲		全世界							
複数製品/複数サイトを 含むEPDにおける 代表性の説明		各製品で使用する原材料は同一、製造サイトも日本の同一の特定サイトである。グループ製品として、天井材表面の柄の違いで4つ型式があり、原材料の投入量、生産工程で使用するエネルギー等消費量についても同じであり、EPDにおける代表性は確保されている。							
複数製品/複数サイトを 含むEPDにおける、算定結果 の上下幅に関する説明		各製品の製造は全て同一サイトで生産をされており、製造時における原材料とエネルギー投入量などは同一であり算定結果に上下幅はない。							
複数製品EPDの説明		グループ製品の4つ型式は、天井材表面の柄の違いのみEPDの算定結果は変わらない製品である。							

> LCA関連情報

宣言単位	製品㎡あたり		
宣言単位当たりの質量 (質量への換算係数)	3.8kg/㎡		
基準フロー（機能単位を満たすために必要な製品数）	—		
システム境界	☒ Cradle-to Gate	☐ Cradle-to-Gate with options	☐ Cradle-to-Grave
LCAソフトウェア	MiLCA クラウド版 バージョン: 1.2.0.8		
LCIデータベース	AIST-IDEA Ver.3.4		
特性化モデル	GWP IPCC2021 with LULUCF 100a、LIME2		
その他のバックグラウンドデータ	無し		
二次データ品質	GPIに規定の二次データ品質を満たしたデータを用いて算定を行った。なお、データ品質評価はISO 14044：2006(環境マネジメント—ライフサイクルアセスメント—要求事項及び指針)の4.2.3.6に従って行った。		
一次データ収集拠点	日本ソーラトン株式会社 千葉工場 協力会社（A社：千葉県佐倉市）		
一次データ収集期間	【A1】原材料調達：2023.4.1～2024.3.31 【A2】原材料輸送：2023.4.1～2024.3.31 【A3】生産段階：2024.4.1～2025.3.31 廃棄物：2023.4.1～2024.3.31		
生物由来炭素の取り扱い	☒ 0/0アプローチ		☐ -1/+1アプローチ
電力契約に関する情報	使用有無	☒ 国や地域の平均的な電力ミックス	
	種類	—	
	購入日	—	
		発行元	
		—	

> 算定対象段階

資材製造段階			施行段階		使用段階							解体段階				境界外
					資材関連					光熱水関連						
A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
原材料の調達	工場への輸送	製造	現場への輸送	施工	使用	維持保全	修繕	更新	改修	エネルギー消費	水使用	解体・撤去	廃棄物の輸送	中間処理	廃棄物の処理	潜在的な負荷と便益
■	■	■	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

■：算定対象　—：算定対象外

> アロケーション

本算定では、GPIに記載の手順でプロセスの細分化およびアロケーションを検討した。グループ製品（4絵柄）の製造プロセスにおいては 全て同一でありアロケーションは実施しない。

> カットオフ

PCRに記載のカットオフ項目以外は、カットオフ無し。

> システム境界

PCRに基づき設定を行った。GPIおよびPCRにて境界外プロセスと定められた、A4～Dをシステム境界外としている。時間的システム境界は100年である。

> シナリオ

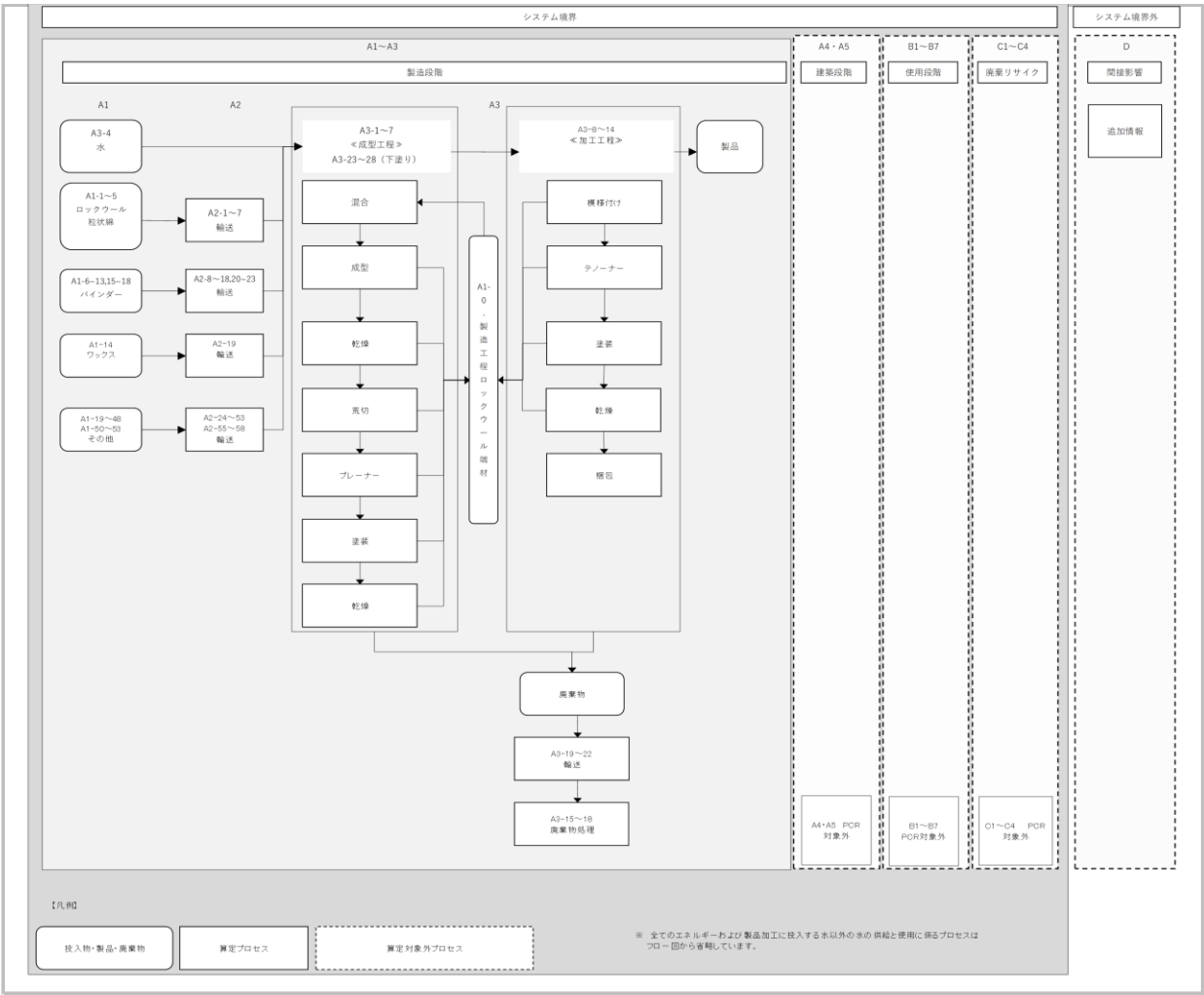
モジュール	説明
【A1】	シナリオの使用無し
【A2】	輸送のトラック積載率に関してシナリオ使用
【A3】	輸送のトラック積載率に関してシナリオ使用
—	—

> 電力モデリング

対象とする全てのライフサイクル段階において、2018年における日本平均の系統電力のデータを用いて算定を行った。



> ライフサイクルフロー図



[illegible][illegible][illegible][illegible]

＞ 出力フローに関する環境情報

[illegible]

> LCA算定結果に関する説明

- ・製品の柄の違いによって生産工程及び必要な資材が変わることはありません。
- ・生産過程で発生するロックウール端材は回収してすべて原材料の混合の工程に戻ります（工程内リサイクル）。
- ・製品製造時に使用した水は、乾燥の工程で蒸発する分と、その他の使用済みの水は回収して再度生産工程で使用します。
- ・結果の不確実性の項目として、一次データが収集できなかった【A2】工場への輸送及び【A3】製造の廃棄物輸送の輸送用トラックの積載率は、PCRに則ったシナリオを使用しています。

●追加環境情報

> LCAに関連しない追加環境情報

—

> 有害物質に関する情報

有害物質名	CAS No.	適用される基準または規制の参照
—		
—		
—		

建材および建設製品からの危険物質の放出

無し

●用語の定義

無し

●参考文献

- ・ISO14025:2006 Environmental labels and declarations — Type III environmental declarations — Principles and procedures
- ・ISO14040:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Principles and framework
- ・ISO14044:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Requirements and guidelines
- ・ISO 21930:2007 Sustainability in building construction — Environmental declaration of building products